

絵本にふれる機会を増やそう

いろいろな場所で
絵本と出会えます



滋賀県立図書館をはじめ、県内全
市町に公共図書館があります。



地域によっては移動図書館がまわ
ってきます。



子育て支援センターや公民館、児童
館など、絵本を読める施設もあります。

県民一人あたりの図書貸出し
冊数は、全国トップレベル！

滋賀県立図書館HP内の「こ
どものページ」には絵本や
紙芝居の検索、おはなし会
などの情報がいっぱい！



子ども読書啓発冊子 (滋賀県生涯学習課発行)

- 読みたい、読んであげたい絵本の情報が
いっぱい！
- スマートフォンにも対応！



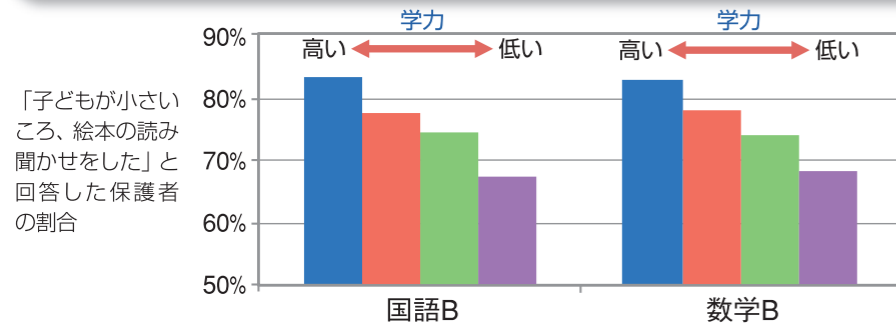
※小学校下学年向け、上学年向け、
中高生世代向けもあります。

におねっと 検索

乳幼児・保護者向け

幼いころの絵本の読み聞かせと学力との関係

読み聞かせで
かけがえのないもの
が育まれます



「学力」と「幼いころの
絵本の読み聞かせ」には
一定の関係が見られます。

※「国語B」「算数B」は全国学力・学習状況調査における主として「活用」に関する問題

出典：平成29年度文部科学省委託事業 国立大学法人お茶の水女子大学報告書(2018年3月) P30 図表4-2 「保護者の子供に対する接し方と学力層」をもとに作成

「おうちで読書」推進チームを募集しています！

県内各地でご活躍の
読書ボランティア団体
のみなさま

読み聞かせをとおして、たくさん
の親子にすてきな時間を提供す
るお手伝いをしてみませんか。

Q どんな活動をするのですか？

A 親子が集まる場所（企業のイベントや研修、子育てサークルの場、県内大型量販店、市町のイベントや乳幼児健診等の会場の一角）にブースを出展し、主に幼児期から就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせや絵本紹介などをさせていただきます。

Q 何か準備するものはありますか？

A みなさんの豊富なご経験とお力を貸してください！絵本、面展台等、基本的に物品は当課で準備します。その他ブース出展の内容、アイデア等当課と相談のうえ、団体で準備いただいてもけっこうです。

Q 資格が必要ですか？

A 資格はいりません。事業へのご理解、ご協力いただける県内読書ボランティア団体の方なら登録いただけます。

☞ 推進チームへの登録をお考えの方、もっと詳しく知りたい方は下記までお問い合わせください。

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 TEL : 077-528-4654 FAX : 077-528-4962
MAIL : ma06@pref.shiga.lg.jp

令和2年(2020年)6月発行

コトバが育つ  ココロが育つ

おうちで読書

本をとおした親子の心のつながりは、子どもにとって楽しい経験となり、読書好きの子どもを育てます。

「読み聞かせ」は、子どもの情緒や想像力を育て、ことばを覚える機会にもなります。

親にとっても子どものすてきな表情をとおして、子育ての楽しさを感じるひとときとなります。

まずは、「読み聞かせ」からスタートし、家族で読書を楽しむ時間をつくりませんか。



自分らしく豊かに生きていくために、「読書」はとても大切なものです。とりわけ、親子が同じものに向き合って過ごす絵本の読み聞かせは、共に育つ大切な時間です。

私たちの家庭に、読書習慣を根づかせましょう。

滋賀県教育委員会教育長 福永 忠克

このリーフレットは、「絵本で子育てを楽しく」(文部科学省) (<http://www.kodomodokusyo.go.jp/yomikikase/>) の内容をもとに作成しています。



滋賀県教育委員会

「おうちで読書」のすすめ

「おうちで読書」とは、家庭で読書の習慣を身に付け、発達段階に応じた読書活動をとおして親子の思いを伝え合い、コミュニケーションを図る取組の合い言葉です。決まったルールやスタイルはありません。



1 子どもと絵本の出会い

子どもは、お父さんやお母さんや家族の心地よいことばのひびきを覚えています。



語りかけられたことを覚えています



ハッピーバースデー
絵本をプレゼント



コラム1

子どもは、ことばを耳で覚え、どんどん新しいことばを吸収していきます。

ブックスタート^{※1}

※1ブックスタート：保健センター等で行われる0歳児健診の機会に、絵本を通じて親子のふれあいを深め、子どもの言葉と心を育むことを支援するために、各地域においてすべての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す取組。

3 読書ブースでの読み聞かせ、絵本を通じたイベント等



県教育委員会は、しがふぁみ^{※2}企業のイベントや研修、子育てサークルの場、県内大型量販店、市町のイベントや乳幼児健診等の会場の一角に「おうちで読書」ブースを出展し、読書ボランティアの方々や図書館の協力を得て、絵本との出会いや親子で読み聞かせを楽しむ機会を一組でも多くの親子に提供します。



コラム3

子育て中の親子やボランティアの人たちと交流する機会となります。

※2しがふぁみ：家庭の教育力の向上に向けた職場づくりに、経営者・従業員をあげて自主的に取り組む企業と滋賀県教育委員会が協定を結び、子どもたちの健やかな育ちのための取組を推進する制度（平成18年度～）。1,490企業・事業所と締結。（令和2年4月1日現在）



2 絵本を見る、お話を聞く



コラム2

親子間のコミュニケーションにより、オキシトシン（愛情ホルモン）が分泌されたり、ストレスに強い心を育てる効果があるという研究結果もあります。



4 親子で継続していっしょに読み聞かせ

読み聞かせは、ことばだけでなく、こころも豊かに育てます。



コラム4

読み聞かせを続けていくうちに、子どもの興味・関心が広がり、情緒が豊かになっていく様子を実感できるようになっていきます。



字が読めることとおはなしがわかることは別のことです。子どもでも、大人でも、耳でお話を聞くことは心地よい体験です。子どもが望む間は読み聞かせを続けましょう。

「読み聞かせ」のコツ

0歳

大丈夫です！何歳からでも安心してはじめてください。

6歳

小学生も読み聞かせは大切です。

音やリズムが楽しい時期

ひざに乗せて よりそって 子どもと楽しくふれあう

自然な声色で ことばを聞かせてあげるつもりで

子どものペースに合わせて お気に入りや何度でも

ことばやジャンルを広げる時期

文字を覚え始めても読み聞かせは続けて

物語の世界に浸る体験 興味・関心を広げて

掲載した読み聞かせのコツや時期は参考です。子どもの発達段階や特性、興味・関心によって異なることが考えられます。それぞれの子どものために読み聞かせを大切にしたいですね。

※音やリズムのよい絵本、布の絵本やさわる絵本、点字絵本、CD絵本など、様々な絵本があります。ぜひ子どもにあった絵本を探してみてください。

「読み聞かせ」の効果

1 「ことば」と「こころ」を育てます

子どもは、家族のあたたかな声の響きとめくもりを感じて満足し、人と言葉で気持ちを通わす喜びを感じます。

言葉を学ぶことで考える力が育ち、人とかかわろうとする気持ちが育ちます。



2 家族への信頼が深まります

絵本や本をとおしてふれあう時間は、家族にとって楽しいひとときになり、子どもの家族への信頼が深まります。

読み手も、子どもと同じ世界を共有できるのでコミュニケーションが深まり、親子の絆が増していきます。

3 「読み解く力」^{※3}の基礎をつくります

本県では、子どもたちがこれからの社会で生きていくために必要とされる「読み解く力」の育成に取り組むこととしています。

本がつくる言葉の世界にふれることで、語彙力、表現力、想像力、集中力を高め、「読み解く力」の基礎をつくります。

※3「読み解く力」には、文章や情報を正確に読み解き理解する力と、相手の言葉やしぐさ、表情などから、相手の意図や思いを読み解き理解する力の2つの側面があるものと捉えています。